

【調査研究報告 調査研究 D チーム】

『令和の日本型学校教育』を担う教師の学びと研修の在り方について

経過

個別最適な学び・協働的な学び・GIGA スクール構想の実現・学習指導要領の着実な実施といった令和の日本型学校教育のあるべき姿を念頭に置き、主に受講者のふりかえりから、現在の研修における課題を見出し、よりよい研修講座を運営できるように調査研究を進めてきました。

目的

指定研修の受講者のセルフチェックシートの分析やふりかえりの内容等を所内で共有し、受講者の課題に寄り添った研修講座の構築運営を行っていくことを目指しました。

I セルフチェックシートを通して

初任者研修やキャリアアップ研修の中で、受講者のセルフチェックシートを分析したところ、下記のような「**地域コミュニティの拠点としての学校づくり**」の項目に課題があると答えた人が多くいました。

- ① 学習環境を整え、個別支援を充実させるために、**教育活動に地域の方の力を取り入れている**。
- ② 地域の人材・企業等の協力による**地域学習を教科等の授業に位置付け**、学習を展開している。
- ③ 年間指導計画や行事計画等をもとに見通しをもち、教科会や学年会で**地域の教育資源の活用を提案**している。

上記に関連した内容として、今年度、総合教育センターでは、以下のような講座を運営しました。

- 地元の探索、見学（短歌館・遺跡の発掘・バイオマス発電所・博物館 等）
- 地域素材の教材化（石ころ・登山） ○天体観測、火山や地層 ○郷土食づくり（ぶどうジュース等）
- 人材育成、司法書士の講師 ○社協の方との取り組み ○地域の防災マップ作り 等

その他に、義務初任者研修で講義「地域と共に歩む学校」、義務キャリアアップ研修Ⅱで講義「なぜ今、学校・地域・家庭の連携なのか」など、セルフチェックシートの分析をもとに、受講者の課題の克服につながる研修講座を計画しました。

II 高等学校指定研修における ICT の活用

【具体的取組】

- ・初任者研修のオンデマンド研修において、スプレッドシートを活用することで、受講者同士が同じ場所・時間を共有しなくても双方向の情報共有が可能
- ・初任者研修において、Google Classroom のみを使用したオンライン研修を実施。Meet を用いて 11 グループの研究協議を行い、情報共有には JamBoard、スプレッドシート、スライド、Forms を活用
- ・キャリアアップ研修Ⅱのセンター講堂での参集研修において、受講者のタブレット及びセンターの Wi-Fi 環境を活用し、Google Classroom (Meet、JamBoard、スライド、Forms) でのグループ協議を実施

【成果（受講者の声から）】

- ・**生徒の立場で Google Classroom を使用することができ、授業で使用する上で大変参考になった。**
- ・**スプレッドシートを活用した振り返りは様々な考え方に触れることができたため、今後の教育活動においてスプレッドシートの共同編集も活用していきたい。**
- ・**Meetを使用した研修スタイルが授業や職員研修でもできる可能性を感じた。**スプレッドシート、JamBoard、スライド等で共同編集によってできる事はたくさんありそうで、**授業でもたくさん活用していけるのではないかと感じた。**
- ・Google を効果的に使用しながら、様々な先生方から**多くの学びがあり、とても楽しかったです。**

成果

研修講座のふりかえり等から受講者の課題や学びの多い研修内容を分析し、令和5年度の研修の講座構築を進めてまいりました。また、今年度は ICT を活用し、スモールステップで複数のコンテンツを作成し、受講者が各校での授業にすぐに活かせる内容となるよう意識して講座運営をしてまいりました。

課題

令和5年度は、より学びの多い研修講座の運営をするとともに、校内研修の充実を目指し、受講者が講座の内容を校内研修につなげやすいよう研究を進めたいと考えております。また、受講者が ICT を活用し情報を共有、データベース化ができるようさらに研究を進めてまいります。